

看護学科 1年後期 総合科目

1. 体育と運動生理
2. 現代の文学
3. 現代の科学
4. 人権と日本国憲法
5. 富山コミュニティー論
6. コミュニケーション論
7. ICT 情報リテラシー

看護学科

科目名: 体育と運動生理			担当教員 氏名: 小川 耕平、泉 敏郎			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
<p>実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 本講義では、健康増進施設での運動指導経験と競技スポーツにおける指導者として経験を活かし、人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする指導を行うものとする。</p>						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
<p>人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする。特に生活習慣病予防や介護予防のための運動処方や実践方法について理解を深める。</p>					運動・健康生理学 介護予防運動	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 6. 7. 9		
A 知識・理解力		人体の仕組みについて生理学的に理解ができる。				
B 専門的技術		人体の仕組みについて生理学的に理解し、医学(看護)と運動を関連付けることができる。				
D 問題解決力		疾病や予防のために必要な健康・体力づくりについて生理学的に理解できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50%	レポート: 30%	発表: %	実技試験: 20%	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: <u>課題解決型学習</u> ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間評価および全体振り返り時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: クラスルーム及びGoogleフォームを利用して実施。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①我が国の健康づくり施策と現状について			【復習】我が国の健康づくりについて理解する	30分		
②運動の継続と実践への取組みについて			【復習】運動継続のポイントを理解する	30分		
③トレーニングの原理・原則とトレーニング方法について			【復習】トレーニング方法を理解する	30分		
④生活習慣病と運動について			【復習】生活習慣病について理解する	30分		
⑤簡易健康・体力測定と運動の実践: ウォーキングテスト・健康確認			【復習】体力測定方法について理解する	30分		
⑥高齢期の健康・体力と運動について			【復習】高齢期の運動特性を理解する	30分		
⑦幼児期の健康・体力と運動について			【復習】幼児期の運動特性を理解する	30分		
⑧実技テスト: 持久系テスト(中間振り返り)			【復習】自分の体力について理解する	30分		
⑨体力の概念について			【復習】体力の概念について理解する	30分		
⑩神経系の役割について			【復習】神経系の働きについて理解する	30分		
⑪エネルギーの産生について			【復習】体を動かすエネルギーについて理解する	30分		
⑫筋系の特性と機能について			【復習】筋肉の特性について理解する	30分		
⑬酸素運搬能力について(呼吸循環系)			【復習】酸素運搬能力について理解する	30分		
⑭運動の効果について			【復習】運動の効果について理解する	30分		
⑮まとめと振り返り			【予習】看護現場における運動の知識をまとめる	30分		
使用テキスト: 随時プリント等で配布します。			その他参考文献など: ・健康・運動の科学(講談社) ・運動とスポーツの生理学(市村出版)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 理解できない点があればその時点で質問することを勧めます。 ・簡単な体力測定を実施します。(ウォーキングテスト・シャトルラン・簡易体力測定・筋カトレーニング実践)						

看護学科

科目名： 現代の文学				担当教員 氏名： 石崎 美恵子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
現代の多様な価値観の中を生きる私たちは、ともすると生きる意味を見失いがちになる。「現代の文学」では、文学作品を通して、構成や描写の巧みさや言葉の力を感じ小説の面白さを味わう。さらに、主体的な読みを通して、時代と人々の生き方、自然や環境による人間の有り様、人や社会とのかかわり、生きる意味 等について考える。						読書 描写 言葉の力 思索 自然 時代 人生 自己理解・他者理解
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8	
A 知識・理解力			様々な書籍に触れることで、読書の面白さを体験する。			
C 論理的思考力			テーマを設定し作品を論理的かつ構造的な視点をもって考え、文章化する。			
D 問題解決力			自分に問題を課し、思索、熟考を十分に行い自分なりの問題解決を志向する。			
E 自己管理能力			困難に直面しても前向きに生きるための心のもち方を学ぶ。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 40 %		レポート： 30 %		発表： %		実技試験： %
その他： 30 %						
特記事項：上記「その他：30%」では、授業に対する姿勢、出席状況、積極性を評価する。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：第7回目で、課題レポートの提出を課す。第15回目(最終回)では、講義で取り上げた作品の中から任意の一冊を選択し、批評、考察を旨とするテストを実施する。毎回授業時に課題書籍の簡単なレポートを提出する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：課題レポートにコメント、採点結果を添付後、返却。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な 時間(分)
①友情について考える。友だちに求めるもの、友達との関係性(思いの相違や共存)				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
②①をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
③自己と他者について考える。自分とは何か、他者とは何か				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
④③をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
⑤心と身体について考える。身体をどう捉えるか、心の多様な動きとその認識				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
⑥⑤をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
⑦孤独について考える。孤独とは何か、孤独との向き合い方				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
⑧⑦をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
⑨家族について考える。家族の意味、意義について、家族からの解放について				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
⑩⑨をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
⑪死について考える。死とは何か、生きるとは何か				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
⑫⑪をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
⑬人生について考える。人生とは何か、自然と人間について、生きる意味とは何か				【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。		【予習】30分 【復習】90分
⑭⑬をテーマとする作品の書評と考察				【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。		【予習】120分 【復習】120分
⑮講義のまとめ				【復習】全講義で配布したプリント、ノートをまとめておく。		【復習】120分
使用テキスト：資料としてプリントを配布する。				その他参考文献など： 新潮・角川・集英社など各社刊行の文庫		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：講義の中で紹介する作品は、時間が許す限り積極的に読んで欲しい。また、授業で取り上げて欲しい作品や問題点がある場合は、積極的に提案してほしい。						

看護学科

科目名： 現代の科学			担当教員 氏名： 泉 敏郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：									
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード				
ICTに関わる基盤技術の解説と、それらの技術が医療分野のシステムにどのように関わっているかについて解説する。医療・介護現場に今後導入されていく科学技術をよく理解し、それらのシステムへの関わり方を考察することを目的とする。					コンピュータ、デジタルテクノロジー、医療機器、ICT、AI、看護支援				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7. 8				
A 知識・理解力			医療機器とそれを支える科学技術の基本について理解する						
C 論理的思考力			科学技術が看護にどのように役立つか、またその課題を考察する						
D 問題解決力			看護とその技術について、討論を通して科学技術における解決と対処方法を考える						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	60 %	発表：	20 %	実技試験：	%	その他：	20 %
特記事項：医療や看護の現場に関する課題に対し、自主的に調べ、発表し、討論する機会を多くとるので、授業では情報収集ができやすい(パソコンやタブレット)や、まとめができるツール(Word、Excel、PowerPointなど)が使えるようにしておくこと。									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 <u>ディスカッション</u> 、 <u>ディベート</u> 、 <u>グループワーク</u> 、 <u>プレゼンテーション</u> 、実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：随時 毎時、まとめとしてプレゼンテーションを実施する									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： レポートについてはその都度内容を評価。ディスカッションについては、グループでのまとめをクラス内での相対評価。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①ガイダンス(科目の趣旨、参加の心構え、評価方法などについて)／医療機器の概要				復習、及び指定箇所の予習	【復習】90分				
②医療機器の歴史／コンピュータの発達史				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
③医療現場におけるICTリテラシーとは				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
④コンピュータ基礎(ハードウェア)				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑤コンピュータ基礎(ソフトウェア(1))				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑥コンピュータ基礎(ソフトウェア(2))				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑦データ通信技術とネットワーク(AIを用いた活用法)				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑧医療と情報セキュリティ(AIを用いた活用法)				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑨ICTを用いた医療機器の実例(1)(脈拍計、血圧計、心電図など)の概要と機能				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑩ICTを用いた医療機器の実例(2)(レントゲン装置、CT、MRIなど)の概要と機能				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑪ICTを用いた医療機器(3)(内視鏡、カテーテル追跡装置など)の概要と機能				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑫ICTを用いた医療機器(4)(医療用ロボット)の概要と機能				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑬AIによる診断システムの概要				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑭看護師としてのAI技術活用(事例報告)				復習、及び指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】90分				
⑮全体討論とまとめ				レポート作成	【予習】30分 【復習】90分				
使用テキスト：特にテキストは使用しない。必要に応じてGoogle Classroomをその他参考文献など、用いて電子的に資料を配布する。授業中に必要な文献など配布する									
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：常に物事に対して疑問を持ち、解決方法を考え、行動する心構えで臨んで欲しい。パソコンを毎時使用する。									

看護学科

科目名: 人権と日本国憲法			担当教員 氏名: 後藤 亜季			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
無人島で誰ともかかわらずに生きない限り、私たちは必ず、いずれかの社会に属して生活することになる。社会にはルールが存在するが、その中でも特に重要となるルールが法律である。講義では、社会人としてまた医療従事者にとって必要な憲法(人権)を学ぶ。また、現代的な問題について検討する。						憲法、法律、人権、自己決定権、医療
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 10	
A 知識・理解力			社会生活上必要な法的知識の獲得と理解ができる			
C 論理的思考力			法的な考え方(リーガル・マインド)の習得ができる			
D 問題解決力			社会生活上生じる様々な法的問題を解決するために、獲得した法的知識やリーガル・マインドを用いることができる			
E 自己管理能力			法的知識やリーガルマインドの活用により、社会生活上生じる様々な紛争を回避することができる			
G 倫理観			人権や権利擁護に対する正しい理解を得、幼児教育に関する学修や実習、将来に活かすことができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業中の発言は発言点となる。発言点は、テストで獲得した点数に加算され、合計点で成績評価を行うこととする。なお、授業計画は進捗や履修者の興味関心に応じて変更することがある。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 デイナミックセッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 最終試験は別に定める日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却する。模範解答を配布する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①ガイダンス: 授業や評価について理解する 法学概論Ⅰ: 国家や法律はなぜあるかを考え、理解する			【予習】自分の身の回りにある・見聞きした法律的事件を確認する 【復習】国家や法律がどのような役割を果たすのかをまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
②法学概論Ⅱ 法律の種類を理解する 具体的な紛争をどのように解決されるかを理解する			【予習】法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べてくる 【復習】法と法律の違いを確認する	【予習】120分 【復習】120分		
③法学概論Ⅲ 具体的な紛争と違憲判決について理解する 法律の機能、特徴を理解する			【予習】法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べてくる 【復習】法と法律の違いを確認する	【予習】120分 【復習】120分		
④憲法概論Ⅰ 憲法とはどのような法律か—現代的憲法の成立と人権を中心に理解する			【予習】市民革命について学んでくる 【復習】市民革命から現代的憲法の成立までをまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑤憲法概論Ⅱ 日本国憲法の三大原理を理解する			【復習】日本国憲法の三大原理、それぞれの関係性をまとめる	【復習】240分		
⑥人権総論 憲法第13条と同第15条以下の人権規定、新しい人権について理解する。個人の尊重、と契約を理解する			【予習】憲法第15条～第40条までについて調べる 【復習】憲法第13条と同第15条以下の関係、新しい人権についてまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑦憲法第13条と自己決定権Ⅰ 自己決定権、信教の自由を理解する 輸血拒否事件1 成人事例について学び、理解する			【予習】憲法第13条について調べる 【復習】自己決定権と信教の自由についてまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑧憲法第13条と自己決定権Ⅱ 親権について理解する 輸血拒否事件2 子どもの事例について学び、理解する			【復習】輸血拒否事件の論点をそれぞれまとめる。成人事例と子どもの事例の違いを明確にする	【復習】240分		
⑨憲法第13条と自己決定権Ⅲ 生殖の自由、生殖補助医療、親子関係決定法について理解する			【予習】生殖補助医療について調べる 【復習】生殖の自由と親子関係決定法についてまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑩憲法第13条と自己決定権Ⅳ 夫死亡後に夫の冷凍精子を用いたAIH事件を学ぶ AHD事例を学ぶ			【復習】授業の内容をまとめ、AHIやAIDはどのようにあるべきか検討する	【復習】240分		
⑪憲法第13条と自己決定権Ⅴ 代理母契約、代理懐胎事件、生殖補助医療に関する問題を学ぶ			【復習】代理母に関する授業の内容をまとめ、今後の生殖補助医療はどうあるべきかを検討する	【復習】240分		
⑫憲法第13条と自己決定権Ⅵ 尊厳死と安楽死を学ぶ 安楽死事件を学ぶ			【予習】尊厳死と安楽死について調べる 【復習】死の決定権について検討する	【予習】120分 【復習】120分		
⑬憲法第14条			【復習】合理的な区別と不合理な差別について判例の論点を整理し、まとめる。日々の生活において生じている異なる取扱について検討する	【復習】240分		
⑭人権に関する現代的課題			【予習】医療と人権に関する問題について調べてくる 【復習】授業内容について、検討する	【予習】120分 【復習】120分		
⑮まとめ			【予習】全体の復習をする	【予習】240分		
使用テキスト: テキストはありません。授業中配布するレジュメを用います				その他参考文献など: いちばんやさしい憲法入門 第4版(有斐閣アルマ)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布したレジュメに従って授業を行います。法律を難しいと感じている人もいますが、次の点でこの授業は皆さんにとって役に立つと思います。社会のルールである法律、特にその中でも最も重要な憲法についての知識を得ることは、①社会人となる皆さんにとって必要であること、②多様な人々が暮らす社会においてその多様性を認めた上で適切な医療を提供する専門家として活躍する際に、とりわけ大切な行動指針を与えてくれること。③現代の社会的な問題や、日々において直面する問題の本質を理解したり、解決する力を養うことができること。授業では、具体的な事例を用いて、皆さんに参加していただきながら、できるだけわかりやすく、楽しく授業を進めていきます。是非意欲的に参加してください。なお、受講者の希望に合わせて内容を変更することがあります。						

看護学科

科目名： 富山コミュニティー論		担当教員 氏名： 学科AD							
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
1	1年次 後期	総合科目	演習	必修					
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：									
授業科目の学習教育目標の概要： 主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					キーワード 教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践 躬行				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 8. 9. 10					
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。							
E 自己管理能力		地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。							
G 倫理観		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。							
F チームワーク・リーダーシップ		【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。							
C 論理的思考力		【生涯学習力】自らが設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。							
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	30 %	発表：	30 %	実技試験：	%	その他：	40 %
特記事項： その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容	学習に必要な時間(分)					
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる			【予習】シラバスの確認		【予習】30分				
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①			【予習】計画書の作り方を調べる		【予習】30分				
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる③									
⑤【AD】連携機関との打合せ			【予習】計画書の確認		【予習】60分				
⑥【AD】調査計画の修正			【予習】計画書の確認						
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①			【予習】計画書の確認と実体験にむけて		【予習】60分				
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②									
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④									
⑪【AD】地域課題の解決策の検討①			【予習】ノートの整理		【予習】60分				
⑫【AD】地域課題の解決策の検討②									
⑬【AD】学習成果のまとめ①			【予習】発表準備		【予習】60分				
⑭【AD】学習成果のまとめ②			【予習】報告書の書き方を調べる		【予習】60分				
⑮【全学科】学習成果報告会			【予習】発表準備 【復習】レポート作成		【予習】60分 【復習】60分				
使用テキスト： 特にありません。			その他参考文献など：佐藤郁哉：フィールドワークの技法 -問を育てる、仮説をきたえる 社会学やさまざまな領域の文献を探索的に探し参考にしてほしい。						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

看護学科

科目名: コミュニケーション論				担当教員 氏名: 経田 博子					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 交流分析士・TAカウンセラー・産業カウンセラーとしての経験を生かして、自分の思考・感情・行動の癖に気づき、コミュニケーション時の選択肢を増やすこと等について教授する									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
コミュニケーション心理学ともいわれる交流分析を活用し、思考・感情・行動について分析し、活用方法を学修と演習から学ぶ。また、自分と他者のコミュニケーションパターンを理解し、交流の改善方法について学ぶ。					交流分析・交流パターン・ストローク・傾聴・認める				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 3. 5. 10				
A 知識・理解力			交流分析の理論を理解し、ワークなどから自己理解を深める						
D 問題解決力			問題に気づき、いろいろな対処方法から「今ここで」必要な対応を理解する						
E 自己管理能力			自分の思考・感情・行動のパターンを理解し、自分の選択に責任を持つ						
F チームワーク・リーダーシップ			ワークショップ・グループワークを通じて、協調性や自分の役割を理解する						
H コミュニケーション力			交流分析の哲学を意識して、より良い人間関係を築く能力を養う						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: 上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題提出などで評価する。本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークを行う									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業内で、グループワークの準備やまとめとしてのレポート提出を行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜、レポート課題を行い、採点し個人のものとは返却する。グループとしてのレポート提出においては、返却はしない。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①コミュニケーションとは 第一印象 グループワーク				【予習】初級テキストの見直し	予習				
②自分を整える 感情と評価				【予習】初級テキスト ストロークを読む	予習30分	復習30分			
③見方と表現 いろいろな表現				【予習】初級テキスト ストロークを読む	予習60分	復習30分			
④心の栄養 ストローク・グループワーク				【予習】初級テキスト ストロークを読む	予習30分	復習30分			
⑤嫌な感情の減らし方 心地よい時間の増やし方				【予習】初級テキストやり取り分析を読む	予習30分	復習30分			
⑥5つの自我状態を意識する				【予習】初級テキスト 自我状態を読む	予習30分	復習30分			
⑦怒りの感情の付き合い方				【予習】自身の怒りの感情について	復習60分				
⑧看護職を意識して				【予習】看護職への活用を考える	予習30分	復習30分			
使用テキスト: 日本交流分析協会発行 交流分析士初級テキスト使用(前期の人間関係論と同じテキスト)				その他参考文献など: 交流分析入門(チーム医療)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 自分や自分の周りの人とより良い関わりができるように、自分を成長させていく貴重な時間です。テキストの理解と共に自身を見直す時間を丁寧になさってください。									

看護学科

科目名: ICT情報リテラシー				担当教員 氏名: 浦城 尚武					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンスIを日常生活、仕事の中で使いこなすことができる基礎的素養を身に着けること。						統計基礎、データサイエンス、データの比較、データの集計、個人情報保護、情報漏洩			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8				
A 知識・理解力			データを読み解く力、説明する力、データを扱うための力を養う。						
C 論理的思考力			情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。						
D 問題解決力			データを利活用する際の留意事項に関する知識習得。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中の後半に毎回課題演習を行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
① ガイダンス: 数理・データサイエンスを学ぶ事の意義				ビッグデータを活用したビジネス/サービス	【予習】30分 【復習】30分				
② 統計学の基礎知識(サンプリングと母集団)の理解				統計基礎の知識・スキル	【予習】30分 【復習】30分				
③ 統計学の基礎知識(正規分布)の理解				統計基礎の知識・スキル	【予習】30分 【復習】30分				
④ Excelによるデータ編集(入力、演算)の習得				Excelを活用したデータの処理	【予習】30分 【復習】30分				
⑤ Excelによるデータ編集(関数)の習得				Excel関数の活用	【予習】30分 【復習】30分				
⑥ Excelによるデータ分析(グラフ)の習得				Excelによるデータのグラフ化	【予習】30分 【復習】30分				
⑦ Excelを活用した将来予測の習得				分析ツールの利用	【予習】30分 【復習】30分				
⑧ Excelを活用した適正価格の推定の習得				分析ツールの利用	【予習】30分 【復習】30分				
使用テキスト: <電子書籍(ManaMo)>「イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Office2016対応」(noa出版)、適宜資料を配付				その他参考文献など: <電子書籍(ManaMo)>これだけは知っておこう! 情報リテラシー(noa出版)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 1年前期に開講した「ICTベーシック」と同じテキストを使用するので、「ICTベーシック」を履修した者はあらためてテキストを購入する必要はありません。									